

平成22年度 事業報告

1. 事業の状況

＜枠内：平成22年度 事業計画を記載＞

1. 理科教育の大幅な時数の増大が図られた学習指導要領改訂の移行実施が円滑に全面実施されるよう「観察・実験」の学校現場での拡大が実現されるための環境整備と現場支援をより強力に行う。

1-1 文部科学省、全国の地方自治体での理科教育予算（人・物・金）確保のための事業の充実

■新学指導要領実施での理科予算拡大の必要性を強く訴求する

- ・学校・教委等に対する理科設備予算の申請促進に向けた啓発活動の展開
- ・実験観察増大に伴う理科消耗品確保のための要望活動
- ・関係機関・諸団体との合同活動の増大
- ・上記の為、印刷物、Web、メール等、適切かつ多くのメディアの活用

■平成23年度理科教育振興法予算増額に向けての活動

■教育一括交付金構想に向けての「理科予算確保」のための活動

昨年8月10日、平成23年度概算要求に向け理科教育設備整備費増額要求などについて文部科学省鈴木寛副大臣、清水潔事務次官以下19部署に陳情を実施したが、8月30日発表の概算要求では、理科教育設備整備費は前年比90%のシーリングを受け補助額9.9億円と初めて1桁の予算になりました。

10月26日の臨時国会でも平成22年度の補正予算に理科は組込まれませんでした。

また、理科教育ルネッサンス委員会(座長:有馬朗人氏)による「理科教育に関する提言書」の作成にも関わり、理科教育環境の整備・充実を訴えました。

12月2日に民主党陳情要請対策本部副本部長兼衆議院文部科学委員会委員である川越孝洋氏に陳情申請を行いました。

そして12月10日鈴木副大臣に面談が整い、理科教育団体の代表の先生方とともに、平成23年度政府予算案に向けた陳情を行いました。副大臣へは、理科予算増額の根拠として、平成22年8月の全国小・中学校理科設備保有状況調査(協会・教育団体共同調査)の結果(協会HPに掲載中)、小・中学校の理科設備保有状況が低水準にあることを資料提示し、ご理解を求めた。更に、清水事務次官以下19部署の訪問も実施いたしました。

その結果12月24日平成23年度政府予算(案)の閣議決定では、理科教育設備整備費が14.9億円と発表され、概算要求から5億円(事業費では10億円)の増額となり、活動の成果が現れた瞬間となりました。

1-2 理科予算増額のための基礎調査および状況資料収集の実施

- 学校現場の現状調査、及び現場ニーズを教育団体の協力を得て独自に調査する
- 理振基準品目改訂に向けて、必要な各種調査を実施する

■理科教育予算基礎調査等委員会の活動(委員長:石崎理事、副委員長:樋口副会長)

8月上旬、全小理と全中理のご協力を得て、全国の小・中学校に対して理科予算総額と理科設備品の保有状況調査を実施いたしました。夏季休暇中にもかかわらず、小学校149校、

中学校 248 校からの回答が得られました。直ぐにデータの集計、分析、評価を行い、その結果を文部科学省に提言し、9月からの政府予算(案)に向けた折衝に資しました。更に、協会ホームページに調査品目の全資料をアップすると共に、概略を啓発パンフレット「理科予算の確保をお急ぎください!!」にまとめ 30,000 部を作成、文部科学省、全国の教育委員会、小・中学校を始め、関係先に配布しました。

■理振基準品目の改訂に向けては、文部科学省の所管に各社理科カタログ等の資料提出と多くの提言を行い、また上記の保有状況調査の結果も参考にいただきました。更に、理科教育のための設備基準に関する細目を定める省令に関するパブリックコメント(H23.3.10-4.8)では、関係者に意見の発信を促すとともに、協会の意見を発信しました。

1-3 新学習指導要領での「実験・観察」増加に対応するための事業の充実

- 小学校向け「教師のための理科実験セミナー」の開催等、教員研修へのご協力
- 社会人特別講師派遣事業を通じた教育現場の支援活動の継続
- 観察・実験を安全に行える「教員スキルアップ」研修会等の開催と実施へのご協力

■平成22年度 小学校教師のための理科実験セミナー

21年度より東京地区と関西地区の2会場での開催を、全小理との共催で実施しました。両会場とも新学習指導要領の「電気の利用」と「粒子の概念」に関する新単元に即した内容の実験を行い、実験手法と指導上の留意点について体得していただきました。特に、関西会場では「生命」と「地球」の分野の講義を選択希望方式で行いました。

- ・第7回 東京地区 日程:8.19(木) 会場:東京女学館中高等学校 参加人員:74名
- ・第2回 関西地区 日程:7.27(火) 会場:大阪教育大学(柏原) 参加人員:28名

■平成22年度スクールワンダークラブ in 東京(経済産業省委託事業)

地域コーディネーターとして、理科支援員等配置事業における特別(社会人)講師を小学校に派遣する事業で、都内23区内と日野市を対象とし、本年3年目の事業である。本年度は希望のあった都内6区(太田区、北区、千代田区、豊島区、中野区)と日野市の11小学校(延べ13校)の5・6年生32クラス1001名の児童に対して、理科学習の内容と実社会での活用を関連付け、かつ日頃の学習に動機づけを与える理科実験授業を実施、展開いたしました。

単なる「出前授業」ではなく、社会人講師と担任教諭とのコラボレーションを重視した実験授業を実施することで、児童からも教師からも高い評価を得ていると自負している。

■観察・実験を安全に行える「教員スキルアップ」研修会を計3回実施しました。

〔小教師向け〕

①授業に役立つ理科の安全実技研修会(お茶の水女子大学)(2.5日21名受講)

内容は、顕微鏡観察ほか良く使われる実験器具の安全な取扱い、指導、保守についてで、小学校の教員だけでなく、メーカー若手社員、販売会員社員の方も受講されました。

〔中教師向け〕

②都中理教員研修会(2.8日42名受講)③中野区中学校理科部研修会(2.16日26名受講)

内容は、顕微鏡の点検修理と、新単元の実験機器の使用上の注意についてでした。

1-4 新法「科学技術振興法」制定に向けた活動

■ 有識者・国会議員にその意義を訴え、賛同者の増大に向けた活動の実施

■平成18年度より「科学技術教育振興法」の制定を提案してきており、22年度も引続き活動を展開した。

- ①科学技術・学術審議会基本計画特別委員会を傍聴し、情報収集を行った。
- ②議員年末挨拶：衆参議員会館の民主党、自民党、公明党の事務所を訪問。(12.16-20日)
- ③理科教育ルネッサンス(座長:有馬朗人氏、委員長:中村邦夫氏:パナソニック会長)の会が提言した「理科教育の復興策に関する提言(第二次)」に参画いたしました。
- ④その他文教系代議士への活動を随時、実施いたしました。

2. 教育用理科機器の研究・開発並びに安全・品質向上に関する事業を実施する

- 総合理化学機器提供会員を中心とした安全対策と品質向上の具体化
- 新学習指導要領に対応した理科実験器具の研究及び新基準品案の作成協力
- 大学、研究機関等との共同研究や調査活動の実施
- 諸外国における理科教育の調査・および資料の収集

■ 安全・品質向上委員会の活動：(委員長：樋口副会長)

8月上旬、啓発パンフレット「安全・安心な観察・実験の実現を目指して」(小学校版9,000部)(中学校版6,000部)を発行。全小理(石川大会)、全中理(京都大会)、各教員研修会、などで配布し、理科実験を安全に行う為の留意事項の再確認資料として好評を得た。

*セラミック付金網にアスベスト混入が発見され、当協会会員の該当各社による回収と代替品の納入を指導・助言した。学校には、ご心配ご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。また、当委員会では関連法規と品質向上に関する勉強会を行いました。

■ 理科教育予算基礎調査等委員会の活動：(委員長：石崎理事)

8月に全小理、全中理との共同調査で、小・中学校の理科設備品の保有状況調査(前述)を行い、改訂理振基準の作成に協力いたしました。

3. 関係機関・諸団体との協力活動の推進

- 関係機関・諸団体への支援ならびに相互協力の推進
全国小学校理科研究協議会、全国中学校理科教育研究会、日本理化学協会
日本理科教育学会、全国公立小中学校事務職員研究会、
その他必要な学会、研究会、諸団体、文教関係者との協力

■理科教育に係る関係機関・諸団体への活動支援として、主たる研究大会への協力費を拠出するとともに、会長・副会長・常務理事等が出席、挨拶をした。また、新学習指導要領で重要視された観察・実験機器リストや、理科機器メーカーの協力を得た新製品の展示・実験手法の説明会等を行い、先生方への普及・啓発をいたしました。

- ①日本理化学協会 島根大会：8月4日～6日 参加数:約400名
- ②全国中学校理科教育研究会 京都大会：8月4日～6日 参加数:約800名

- 会員数・口数の拡充に努める
- 公益事業の拡大および、そのための体制整備を図る
- 中期（3ヶ年）計画の検討・立案を行う
- (新)公益法人制度への対応策の具体的推進

- 平成22年度より会費が1口18,000円に上がり、また経費の削減もあり、収支決算報告にもありますように、黒字で終了することができました。
- 会員数では、正会員は減少していますが、その減少数は以前より小さくなってきました。また、賛助会員では入会者と退会者がほぼ同数でした。
- (新)公益法人制度への対応策では、(公益財団法人)公益法人協会への加入をすることにいたしました。

2. 庶務の概要

2-1 役員に関する事項

(平成22年5月19日定時総会)

役職	氏名	就任年度	勤務態様	所属(勤務先)
会長	大久保 昇	平成 17 年	非常勤	(株)内田洋行 取締役専務執行役員
副会長	中村 久良	昭和 60 年	〃	(株)ナリカ 取締役会長
副会長	西松 正武	昭和 60 年	〃	ケニス(株) 代表取締役社長
副会長	八神 基	平成 13 年	〃	(株)ヤガミ 代表取締役社長
副会長	樋口 裕司	平成 15 年	〃	(株)島津理化 取締役
常務理事	松谷 信治	平成 20 年	常勤	(社)日本理科教育振興協会
理事	瀧澤 祥彦	平成 15 年	常勤	(社)日本理科教育振興協会
理事	倉地 克次	平成 17 年	非常勤	国立特別支援教育総合研究所名誉所員
理事	橋本 健夫	平成 19 年	〃	日本理科教育学会 会長
理事	赤石 定治	平成 22 年	〃	日本理化学協会 会長
理事	宮下 彰	平成 21 年	〃	全国中学校理科教育研究会 会長
理事	船尾 聖	平成 21 年	〃	全国小学校理科研究協議会 会長
理事	岩瀬 英人	平成 21 年	〃	(株)内田洋行 執行役員
理事	石崎 裕行	平成 19 年	〃	(株)内田洋行 部長
理事	今尾 峻明	昭和 62 年	〃	(株)イマオ商会 代表取締役社長
理事	中田 弘明	平成 17 年	〃	(株)雄飛堂 代表取締役社長
理事	鈴木盛一郎	平成 19 年	〃	(株)鈴盛商会 代表取締役社長
理事	大貫 重良	平成 19 年	〃	(有)ホークス 代表取締役社長
理事	小山 浩	平成 19 年	〃	(株)小山日進堂 代表取締役社長
理事	阿部 吉夫	平成 19 年	〃	チバビジネス(株) 代表取締役社長
監事	片山 保	平成 13 年	〃	(株)京都科学 代表取締役社長
監事	滋野 文夫	平成 13 年	〃	(株)滋野堤水堂 代表取締役社長
監事	森川 利忠	平成 13 年	〃	大和精機(株) 代表取締役社長

※日本理科教育学会 会長は、橋本健夫氏から、森本信也氏に期中交代しております。

※日本理化学協会 会長は富岡康夫氏から、赤石定治氏を経て、和田文夫氏に期中交替しております。

2-2 職員に関する事項

職名	氏名	担当事務	勤務態様	備考(雇用期間)
嘱託	関口 良幸	一般事務(経理担当)	常勤	平成19年3月～
嘱託	池勝智恵美	一般事務(事業担当)	常勤	平成16年6月～

3. 会議に関する事項

3-1 理事会

開催年月日	審 議 事 項	結果
H22. 5. 19	<p>第302回定例理事会</p> <p>1. 入退会者審査について、賛助会員入会申込者1社、正会員の退会申込者7社を諮った。</p> <p>2. 第39回定時総会関連について (1) 総会出席人数・委任状数 (2) 役割分担の確認 (3) 総会招待者の確認 (4) 総会配布資料の確認 (5) 永年勤続優秀社員の表彰について、下記を諮った。 被推薦者23名、出席者7名、受賞代表の選任</p> <p>3. 理科予算の動向と理科設備の改訂について、展開等を諮った。</p>	<p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p>
H22. 7. 6	<p>第303回定例理事会</p> <p>1. 入退会者審査について、正会員入会申込者3社、退会申込者2社を諮った。</p> <p>2. 第39回定時総会総括（報告）</p> <p>3. 平成22年度事業計画の推進について、理科教育環境の充実、委員会活動、実施事業など各計画の具体的事案を諮った。</p>	<p>可決</p> <p>了承</p> <p>可決</p>
H22. 9. 9	<p>第304回定例理事会</p> <p>1. 入退会者審査について、正会員退会申込者3社を諮った。</p> <p>2. 平成22年度理振法予算及び平成23年度概算要求（案）へ向けて、調査結果からの啓発、陳情活動などの計画を諮った。</p> <p>3. 平成21年度事業計画の進捗と推進について、理科教育環境の充実を含め各計画の具体的事案を諮った。</p>	<p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p>
H22. 11. 22	<p>第305回定例理事会</p> <p>1. 入退会者審査について、正会員退会申込者3社を諮った。</p> <p>2. 平成22年度概算要求（案）へ向けての理振法予算増額の陳情活動（緊急）計画を諮った。</p> <p>3. 平成22年度事業計画の進捗について、理科環境の充実の為の調査委員会、安全・品質向上委員会等の具体的事案を諮った。</p>	<p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p>
H23. 1. 17	<p>第306回定例理事会</p> <p>1. 入退会者審査について、正会員入会申込者2社、退会申込者9社を諮った。</p> <p>2. 平成22年度政府予算（案）で理振予算が概算要求時より5億の増額となり、新年度有効に使われるよう活動内容を諮った。</p> <p>3. 平成22年度事業計画の進捗と推進について、理科教育環境の推進を含め各計画の具体的事案を諮った。</p>	<p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p>
H23. 3. 16	<p>第307回定例理事会</p> <p>※ 東日本大震災の為、延期(中止)とする。</p>	
H23. 4. 19	<p>第308回定例理事会</p> <p>1. 東日本大震災への対応について諮った。</p> <p>2. 入退会者審査について、正会員退会申込者22社、賛助会員退会申込者1社を諮った。</p> <p>2. 平成22年度事業報告及び収支決算報告について諮った。</p> <p>3. 平成23年度事業計画案及び収支予算案について諮った。</p> <p>4. 第40回定時総会の実施計画について 主要事項及び役員改選など関連事項等を諮った。</p>	<p>可決</p> <p>了承</p> <p>可決</p> <p>可決</p>

3-2 各部門活動状況 [専門委員会]

【安全・品質向上委員会】（委員長：樋口副会長、副委員長：石崎理事）

開催年月日	審 議 検 討 事 項
	〔主な内容〕
H 22. 4. 16	第 5 回 安全性を考慮する具体的事例(理化機器)について
H 22. 5. 6	第 6 回 啓発パンフレットの作成と概要検討
H 22. 6. 8	第 7 回 「啓発パンフレットの内容検討
H 22. 7. 13	第 8 回 「安全・安心な観察実験の実現をめざして」パンフ内容精査
H 22. 10. 4	第 9 回 1. 「安全・安心な…」パンフ増刷検討 2. 次期計画
H 22. 11. 9	第 10 回 1. 「安全・安心な…」パンフの評価 2. 冊子ポスターの製作検討
H 23. 1. 6	第 11 回 1. セラミック付金網アスベスト混入問題について
H 23. 1. 14	第 12 回 1. 品質向上対策勉強会 2. 金網対策報告 3. 品質検討事項
H 23. 3. 1	第 13 回 1. 次年度活動(品質向上)について 2. 金網対策報告

■啓発パンフレット「安全・安心な観察実験の実現をめざして」

- ・小学校版：3,000+6,000部(再版)作成、
- ・中学校版：3,000+3,000部(再版)作成、
- ・全小理(石川大会)、全中理(京都大会)、各教員研修会ほかで配布。

【理科教育予算基礎調査等委員会】（委員長：石崎理事、副委員長：樋口副会長）

開催年月日	審 議 検 討 事 項
	〔主な内容〕
H 22. 5. 6	第 5 回 1. 調査項目、2. 調査方法、3. 調査時期などの検討
H 22. 6. 8	第 6 回 1. 調査項目、2. 調査方法、3. 調査時期などの精査検討
H 22. 7. 13	第 7 回 1. 調査実施準備などの検討
H 22. 8. 23	第 8 回 1. 調査集計入力、2. 集計方法などの検討
H 22. 9. 6	第 9 回 1. 調査データの解析などの検討
H 22. 10. 4	第 10 回 1. 調査データの分析・評価、2. 結果の発表と活用策の検討
H 22. 11. 9	第 11 回 1. 調査結果の発表(報告書作成、パンフレット 30,000部作成、ホームページ掲載)と活用策などの検討
H 23. 1. 14	第 12 回 1. 調査結果の反響と評価、2. 次年度調査などの検討
H 23. 3. 1	第 13 回 1. 次年度調査の検討

■啓発パンフレット「理科予算の確保をお急ぎください！！」30,000部作成、

- ・ホームページに全調査データをアップ
- ・会報に調査結果の概略報告を2回掲載
- ・議員、文科省への陳情時の資料として活用

【広報・Web委員会】（委員長：岩瀬理事）

開催年月日	審 議 検 討 事 項
H 21. 4. 9	第 6 回 Web 部会・ホームページリニューアル打合せ
H 21. 6. 15	第 7 回 会報第 254 号(平成 22 年 7 月:総会・研究大会号)の検討
H 21. 9. 21	第 8 回 会報第 255 号(平成 22 年 11 月:理科予算号)の検討
H 22. 12. 6	第 9 回 会報第 256 号(平成 23 年 1 月:新年号)の検討

■会報 3 号(254 号~256 号)の発行:

- ・会報第 254 号(平成 22 年 7 月:総会・研究大会号)

〔内容〕・第 3 9 回定時総会ご報告(総会議事録含む)

- ・平成 2 2 年度 全国理科教育研究大会「開催に寄せてご挨拶」
- ・平成 2 2 年度実施事業計画
- ・岐阜県理科教育振興協会総会報告

- ・会報第 255 号（平成 22 年 11 月：理科予算号）

〔内容〕 ・概算要求決定、 ・まだまだ足りない観察・実験設備整備

- ・平成 22 年度 理科教育研究大会のご報告
- ・安全・安心な観察実験の実現を目指して
- ・平成 22 年度 実施事業報告：①「小学校教師のための理科実験セミナー」
②「スクールワーカークラブ in 東京」③「毒物劇物取扱責任者受験準備講習会」
- ・大阪教育用理科振興協会総会報告

- ・第 9 回 会報第 256 号（平成 23 年 1 月：新年号）

〔内容〕 ・新年ご挨拶：協会、文部科学省、教育団体

- ・平成 23 年度政府予算案決まる！！概算要求陳情活動の経緯
- ・理科予算の確保をお急ぎください！！
- ・平成 22 年度 実施事業報告：①「スクールワーカークラブ in 東京」フォーラムご案内
②公開講座「最先端分析科学の世界」 ③平成 23 年主な年間行事予定

〔事業部門〕 **【スクールワーカークラブ in 東京：経済産業省委託事業】**

開催年月日	審 議 事 項
	〔構成・実施委員会〕
H22. 4. 26	第 1 回 委託事業内容確認、年間計画の立案、プログラム開発、実施校の開拓、
H22. 6. 29	第 2 回 授業実施の対象区と学校確認、教材プログラム開発にかかる作業の確認
H22. 11. 30	第 3 回 本年度事業の内容確認、新規プログラム開発進捗状況確認、 授業実施の対象区と学校確認、アプローチ等
H23. 2. 7	第 4 回 授業実施の確認、フォーラム実施内容確認、各社情報確認

〔授業実施校 全 13 校〕 （下線は新規内容、新規企業です。）

- 1) 北区立滝野川小 5 年 3 学級 「ソラヨミ」で天気予報(新) 10. 12 日 (株)ウェザーニューズ+(株)ヤガミ
- 2) 大田区立荻中小 6 年 2 学級 発電について考えよう 10. 12 日 (株)ナリカ
- 3) 墨田区立業平小 5 年 2 学級 天気のいろいろを考えよう 11. 1 日 (株)ナリカ
- 4) 大田区立松仙小 6 年 4 学級 電気の利用 11. 18-19 日 ケニス(株)
- 5) 大田区立洗足池小 6 年 2 学級 水溶液のなかま分け 11. 25 日 (株)内田洋行
- 6) 日野市立日野第四小 6 年 3 学級 発電について考えよう 12. 20 日+1. 20 日(株)ナリカ
- 7) 千代田区立麴町小 5 年 2 学級 顕微鏡を使ってミクロの世界を探検(新)
12. 21 日(株)島津理化
- 8) 大田区立おなづか小 6 年 2 学級 電気を作り出してみよう 1. 13 日 (株)ヤガミ
- 9) 大田区立洗足池小 5 年 2 学級 インスタントコーヒーを作ろう 1. 18 日(株)ブルックス+(株)島津理化
- 10) 中野区立丸山小 6 年 3 学級 宇宙旅行にでかけよう(新) 1. 25 日(独)JAXA+(株)ケニス
- 11) 中野区立丸山小 5 年 2 学級 水のろ過 地球環境を考える 1. 27 日東レ(株)+(株)ヤガミ
- 12) 豊島区立池袋第二小 6 年 2 学級 土地の成り立ちを探る(新) 1. 28 日(株)内田洋行
- 13) 大田区立入新井第二小 5 年 3 学級 インスタントコーヒーを作ろう
2. 1 日(株)ブルックス+(株)島津理化

【フォーラムの開催】 2 月 19 日(土)13:30~16:30 会場：(株)内田洋行 新川オフィス

- ・委託元出席：経産省大学連携推進課 小原企画調整官、田畑氏、関東経産局 中田氏他
- ・講演：大田区教育委員会指導主事：早川先生、聖徳女子大学教授：宮下先生、津幡先生
- ・講評：文科省教科調査官：村山先生、
- ・参加者：約 40 名（大田区教育センター大原先生、講師派遣企業 7 社、会員、一般企業）

〔事業部門〕 **【小学校教師のための理科実験セミナー】**

開催年月日	審 議 事 項
H22. 4. 8～	*東京と大阪の講師との打合せ(随時) *都小理、大小理の研修部と打合せ(随時) *募集パンフレットを作成し、関係機関に送付。
H22. 6. 18	【東京地区】事前打合せ会
H22. 7. 26	【関西地区】事前打合せ会
H22. 7. 27	【関西地区】研修会実施
H22. 8. 19	【東京地区】研修会実施

【第7回 東京地区 小学校教師のための理科実験セミナー】 参加人員：74名

- ・ 後援：都小学校校長会、東京都小理、東京都教委等
- ・ 日程：平成22年8月19日(木) ・会場：東京女学館中高等学校
- ・ 講師：阿部純一(東京女学館中学校高等学校)、岩藤英司(東京学芸大学附属高等学校)、上野幸彦・宮川可奈子(早稲田大学本庄高等学院)、加藤義道(麻布中学校高等学校)、柄山正樹(東洋大学)、古澤祐一(前東京都立国立高等学校) (敬称略)

< J S Tサイエンスチャンネルで放映 >

【第2回 関西地区 小学校教師のための理科実験セミナー】 参加人員：28名

- ・ 後援：大阪府校長会、大阪府小理研究会、大阪府教委、大阪市教委等
- ・ 日程：平成22年7月27日(火) ・会場：大阪教育大学(柏原キャンパス)
- ・ 講師：畦 浩二(全体, 生物)、鈴木康文(エネルギー)、神鳥和彦(粒子)、福江 純(地球)、以上、大阪教育大学の4教授 (敬称略)

<生涯教育新聞8月30日に掲載>

〔事業部門：会員支援〕 **【毒物劇物取扱責任者受験準備講習会】**

開催年月日	審 議 検 討 事 項
H 22. 6. 15	H22年第2回毒物劇物取扱責任者受験準備講習会の実施に係る3団体打合せ (社)日本理科教育振興協会、東京科学機器協会、(社)日本教材備品協会
H 22. 7. 31 ～8. 6	平成21年度毒物劇物取扱責任者受験準備講習会開催 受講生：45名 会場：大妻女子大学(東京都千代田区)
H 22. 8. 10	千葉県試験28名受験
H 22. 8. 17	栃木県試験6名受験
H 22. 8. 24	茨城県試験4名受験
H 22. 10. 23	埼玉県対策として補講を実施(会場：東京科学機器協会)
H 22. 10. 24	埼玉県試験11名受験
H 23. 3. 23	H23年第1回毒物劇物取扱責任者受験準備講習会の実施に係る3団体打合せ (社)日本理科教育振興協会、東京科学機器協会、(社)日本教材備品協会

- ・ 講習期間：平成22年7月31日(土)～8月6日(金)
- ・ 会 場：大妻女子大学
- ・ 受講人員：45名 ・受験者数：42名、30名合格(71%)

〔平成23年度〕計画

- ・ 講習期間：平成23年7月31日(月)～8月6日(日)
- ・ 会 場：大妻女子大学
- ※ 受講者募集中

〔渉外部門〕

(理科教育環境整備向上、科学技術教育振興法制定に向けた支援・協力要請等) (敬称略)

開催年月日	審 議 検 討 事 項
H 22. 4. 15	番町政策研究会「2010 躍進の集い」に参加
H 22. 4. 17	科学技術週間シンポジウム「科学技術の力による輝きある日本…」に参加
H 22. 4. 19	理科教育ルネッサンス委員講演：鈴木 寛（文部科学副大臣）に参加
H 22. 4. 20	「池坊保子と集う春の夕べ」に参加
H 22. 4. 20	「織部会」古屋圭司に参加
H 22. 4. 21	「遠藤利明 政経セミナー」に参加
H 22. 4. 22	民主党企業団体委員会(民主党本部)訪問 (協会総会等)
H 22. 4. 22	議員会館(衆・参) 25 事務所、文部科学省 45 部署へ訪問 (協会総会等)
H 22. 4. 27	「田野瀬良太郎君と明日の日本を語る会」に参加
H 22. 5. 13	「清和政策研究会との懇親の集い」に参加
H 22. 5. 18	河村建夫 志帥会「日本を取り戻せ！」に参加
H 22. 5. 20	田野瀬良太郎「近未来政治研究会」に参加
H 22. 5. 26	遠藤利明 新風会「第 15 回月例セミナー」に参加
H 22. 5. 26	衆議院第 1・2 議員会館 石田義弘議員事務所以下 14 事務所
H 22. 5. 28	参議院議員会館鈴木寛議員事務所以下 8 事務所(第 39 回定時総会后挨拶)
H 22. 6. 2	鳩山邦夫「第 3 回政経セミナー」に参加
H 22. 6. 11	中川秀直「中川秀直シンポジウム」に参加
H 22. 7. 16	理科教育ルネッサンス委員会：SSH の展開・その成果と生徒の報告に参加
H 22. 7. 20	遠藤利明「新風会 月例セミナー」に参加
H 22. 7. 21	河村建夫「第 27 回朝食会」に参加
H 22. 7. 29	中川秀直「第 104 回モーニングセミナー」に参加
H 22. 8. 2	古屋圭司「古屋圭司政経フォーラム」に参加
H 22. 10. 13	河村建夫を育てる会「第 28 回朝食会」に参加
H 22. 10. 27	遠藤利明「新風会 月例セミナー」に参加
H 22. 10. 28	古屋圭司「織部会フォーラム」に参加
H 22. 11. 11	大島九州男を囲む会に参加
H 22. 11. 30	小坂憲次 2010 政経フォーラム 小坂憲次君と語る会 に参加
H 22. 12. 2	理科教育ルネッサンス委員会：理科教育の復興策に関する提言 (第二次)
H 22. 12. 7	船田元 船田元君の再起を期待し激励する会 に参加
H 22. 12. 14	義家弘介「義家弘介 教育再生を語る集い」に参加
H 22. 12. 15	中川秀直「中川秀直君を囲むナイトセミナー」に参加
H 22. 12. 16	鳩山 邦夫『鳩山 邦夫「新声会」』に参加
H 22. 12. 16	年末挨拶 衆議院第一議員会館 19 事務所 文教系等代議士事務所へ
H 22. 12. 20	年末挨拶 衆議院第二・参議院議員会館 44 事務所文教系等代議士事務所へ
H 22. 12. 22	河村建夫を育てる会「第 29 回朝食会」に参加
H 22. 12. 22	遠藤利明「新風会 勉強会」に参加
H 23. 1. 12	理科教育ルネッサンス委員会：有馬朗人氏文化勲章記念祝賀会に参加
H 23. 1. 13	民主党大会 に参加
H 23. 1. 26	新しい公共 NPO 予算ヒアリング に参加
H 23. 2. 23	河村建夫を育てる会「第 30 回朝食会」に参加
H 23. 2. 23	遠藤利明「新風会 勉強会」に参加
H 23. 2. 24	町村信孝「信友会」朝食会 に参加
H 23. 3. 7	谷垣禎一「政経文化研究会」セミナー に参加
H 23. 3. 7	笠浩史「政経懇話会」に参加
H 23. 3. 4	古谷圭司「織部会」に参加

3-3 総会

開催年月日	審 議 事 項	結 果
H 22. 5. 19	第39回定時総会 第一号議案：平成21年度 事業報告 平成21年度 収支計算報告	可決承認
	第二号議案：平成22年度 事業計画案 平成22年度 収支予算案	可決承認

4. 会員の異動状況

会員種別	平成23年度 (H23.4.1日)	平成22年度 (H22.4.1日)	増減 (同月比較)	備考
正 会 員	1, 207人	1, 251人	△44人	
賛 助 会 員	50人	50人	0人	
アカデミ-会員	18人	23人	△5人	
合 計	1, 275人	1, 324人	△49人	
※ 定 足 数	604人	626人	△22人	